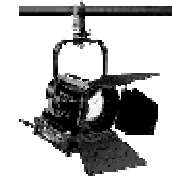


関西ディレクトのホール管理

< 関西ディレクトのホール管理実態 >

関西ディレクトは、現在7箇所のホール管理(舞台関係技術業務委託)を請け負っております。
龍野市民会館請負から35年、地域住民の皆様方と共に文化交流の拠点としてのホール運営をサポートしています。



●朝来市文化会館
(和田山ジュピターホール)



☆穴栗市山崎文化会館
(サンホールやまさき)



たつの市総合文化会館
赤とんぼ文化ホール
★たつの市総合文化会館
(赤とんぼ文化ホール)



○多可町文化会館
(ペルディーホール)



西脇市民会館
■西脇市民会館



うるおい交流館-エクラ
□小野市うるおい交流館
(エクラホール)



*小野市民会館

関西ディレクトのホール管理

< 関西ディレクトのホール管理形式 >

関西ディレクトは、ホール管理(舞台関係技術業務委託)において以下の形式を御用意しております。
各請負ホールの規模、使用日数に応じた形式は、委託費の絞込みにも有効です。



ホール規模1000人以上	使用日数200日以上	舞台・照明・音響 3名常勤体制	
	使用日数100日～200日	舞台 1名常勤 照明・音響 2名非常勤体制	1
	使用日数100日以下	舞台・照明・音響 3名非常勤体制	2
	注)催し物の内容により上記以上の人員が必要な場合があります		
ホール規模500人以上1000人未満	使用日数150日以上	舞台 1名常勤 照明・音響 1～2名非常勤体制	
	使用日数150日以下	舞台・照明・音響 2～3名非常勤体制	3
	注)最低人員2名体制の場合、舞台にて照明遠隔操作が可能なホールとします。 注)催し物の内容により上記以上の人員が必要な場合があります		
ホール規模500人未満	使用日数に関係なく	舞台・照明・音響 2～3名非常勤体制	4
		注)最低人員2名体制の場合、舞台にて照明遠隔操作が可能なホールとします。 注)催し物の内容により上記以上の人員が必要な場合があります	

非常勤の人員は、最低必要人員(2～3名)をホールが全て負担する場合と、常勤者(1～3名)もしくは非常勤者(1～2名)をホールが負担する場合があります。(弊社請負ホール実績)

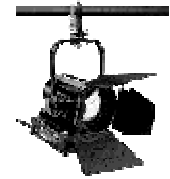
常勤者とは年間260日以上勤務すること 非常勤者とは、年間260日未満の勤務を基準とします。

- 1 たつの市総合文化会館(大ホール1名常勤、中ホール1名非常勤のホール負担)
- 2 小野市民会館(3名非常勤のホール負担)
- 3 山崎文化会館(1名非常勤のホール負担)、多可町文化会館・西脇市民会館(2名非常勤のホール負担)
小野市うるおい交流館・朝来市文化会館(3名非常勤のホール負担)
- 4 随意契約のホール(上郡町立中央公民館 等)

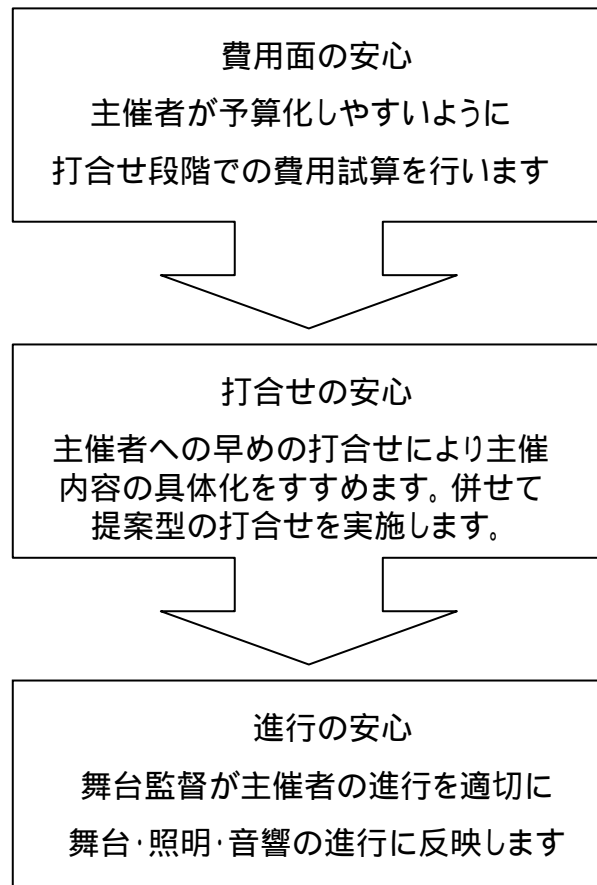
関西ディレクトのホール管理

< 関西ディレクト ホール管理の安心 >

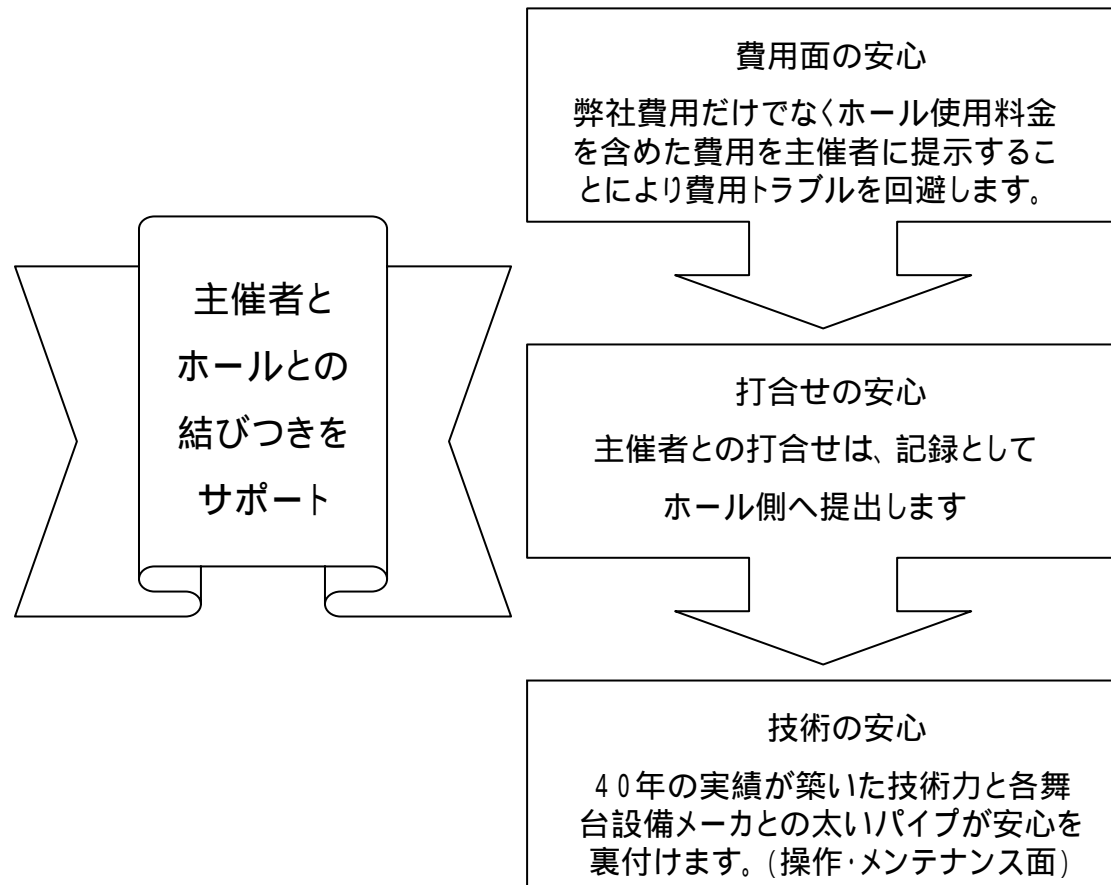
関西ディレクトは、ホール管理(舞台関係技術業務委託)において、主催者やホールが安心できる運営を行ないます。35年に渡る実績とそれに裏付けられた技術力が創造ある舞台づくりをサポートします。



** 主催者の安心 **



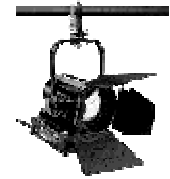
** ホールの安心 **



関西ディレクトのホール管理

< 関西ディレクト ホール管理業務の種類 >

関西ディレクトは、ホール管理(舞台関係技術業務委託)をはじめ、以下の業務が受託可能です。その内容は以下の通りですが、受託範囲の明確化により、ホール全体の管理の中での位置付けが明確になります。



舞台関係技術業務委託
(一般的に言うホール管理)

舞台・照明・音響操作 (ホール使用日数内～ホール使用日により日数算出)
上記打合せ (ホール使用日数外～週1日程度)
舞台・照明・音響調整 (ホール使用日数外～1ヶ月に1回1日程度)
操作には、設備備品の日常管理を含みます。

舞台関係保守業務委託

本項目は、ホールに代わって舞台設備納入業者による保守メンテナンスを管理運営するもので、 項の委託費とは異なります。費用については、一般的にホール竣工後の積算となります。

舞台関係設備納入

本項目は、ホールに代わって舞台関係設備の更新を行うもので、一般的には移動機材(マイク、スポット、ケーブル等)の購入を計画提案し、納入するものです。

舞台関係消耗品納入

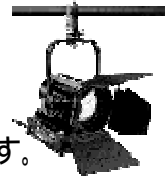
本項目は、ホールに代わって舞台関係消耗品の管理を行うもので、一般的にはランプ、電池、ケーブル、粘着テープ類、くぎ、針金 等々の在庫を管理し納入するものです。

については、舞台関係設備の把握及びトレーニングのためホール竣工3～4ヶ月前の契約をお勧めいたします。
については、 契約後の舞台関係設備把握後の積算となります。

関西ディレクトのホール管理・補足

< ホール管理業務とボランティアスタッフ制度 >

関西ディレクトは、業者委託とボランティアスタッフ制度を併用するホールから委託を請け負う数少ない業者です。その経験は、ボランティアスタッフ制度の問題点を抽出し、併用性を導入するという、現在のホール運営に活かされています。



- ・ボランティアスタッフ制度とは
公共ホールが文化意識の高揚のもと、広く住民から舞台業務に興味を持つ人を募集し舞台関連技術業務を行うものです。一般的には無償です。
スタッフのトレーニングは、ホール技術職員もしくは弊社のような業者のベテラン社員が行います。
- ・ボランティアスタッフ制度の利点
住民の文化意識高揚の手段としては有効です。手作りの舞台づくりは、小規模ホールには適しています。最大の利点は、主催者の費用負担が軽減されることです。
- ・ボランティアスタッフ制度の問題点
不定期なホール使用と主催内容による人員の増減が定期的な人員の確保を阻害する。その結果、大半のスタッフはプライベートを優先し、益々人員確保が難しくなる。
舞台機構や電源など安全管理に高度なテクニックを要するものは、その安全確保にかなりの注意が必要です。
一般主催者への舞台進行責任の所在も不明確でホールの信頼感にも影響する。
- ・併用性の導入
公共ホールを持つ行政の催し物で定期的なもの(文化祭、講演会、式典など)についてはボランティアスタッフによる運用を行う。(高度な技術を要するものを除く)
ただし、舞台機構についてはホール職員もしくは委託業者が安全管理を行なう。

一般主催者の催し物は、進行責任の面から業者委託とする。

ボランティアスタッフのトレーニングはコミュニケーションの面から、委託業者のベテラン社員が行ない、互いに舞台運用方法のルールについてディスカッションする。